

令和元年度『中野のチカラ応援事業補助金』事業一覧

整理番号	事業名	事業主体	新規・継続	事業内容	補助率	交付決定額(円)	確定額(円)
1	おはなし塾 2019年度講座	新おはなし塾	継続	3年目の事業。子ども達への読書活動を推進と、読み聞かせ側の技術の向上を目指し、読み聞かせ等の基本を学ぶ学習会を開催する。本年度は、新たに親子のコミュニケーションが深められるよう、わらべうたや手遊びの指導にも重点を置く。 【H29支援額：10万円 H30支援額：9万円】	9/10 (女性が2/3以上)	111,000	111,000
2	中野市役所花壇やその周辺の植栽・整備及び花育・緑育できる人材育成のための講座開催事業	花と緑を育てる会	継続	2年目の事業。昨年度に引き続き、中野市役所及び周辺の花壇に季節感あふれる花と緑を植栽し、景観を整える。また、空き家跡地の緑化を整えて、中野市内に花と緑の見られる地域ぐるみの活動のリーダーとして活躍できる人を育てたい。 【H30支援額：20万】	9/10 (女性が2/3以上)	300,000	300,000
3	地域の魅力発信情報誌「おらほのヤンドモ」作成事業	公営社団法人中野青年会議所	新規	新規事業。中野市内の保育園、幼稚園、小学校に対して地域の魅力発信情報誌「おらほのヤンドモ」を配布する。内容は、「すごい子50人!!」長所を褒めて自己肯定感を高めるもの、「ローズクエストキャラクター作成」「お仕事紹介」などの中野市への愛着を深めるものであり、郷土に愛着をもたせ、この地域を背負って立つ人材育成に繋げる。	3/4	300,000	300,000
4	子どもの環境・郷土学習にかかわる事業	特定非営利活動法人信州ふるさと郷育ネットワーク	継続	3年目の事業。中野市を担う子どもたちが郷土への理解を深め、郷土愛を育むため、平成28年度に「地域発元気づくり支援金」の交付を受け「中野市ふるさとドリル」を作成した。昨年は小学3年生向けの英語ワークシート及び中学2年生向けの英語版「中野市ふるさとドリル」を作成、配布した。【H29支援額：30万 H30支援額：30万】	3/4	300,000	300,000
5	子供の居場所作り事業	信州Gプロジェクト	新規	新規事業。子供たちが笑顔で子供らしく遊べる場所や、居場所づくりをすることで、コミュニケーション能力や想像力を高め、日本の未来を作り上げる子供たちの生きる力を向上させる。今年度は、「竹とんぼづくり」と「マイ箸づくり」講座を開講し、もの作りの暖かい経験をととして、子供たちの自信とチカラを育みたい。	3/4	63,000	63,000
6	ハンドメイドワークショップを通じた子育て支援地域協働推進事業	BIBLIO FORUM	継続	2年目の事業。子育て世代を中心としたハンドメイドのワークショップを定期的に開催し、交流の場やコミュニケーションの場を創出する。同世代の子供をもつ母親や、そのほか地域の方々と日常的にコミュニケーションをとる場所を設け、地域力の向上につなげる。 【H30支援額：17万5千円】	9/10 (女性が2/3以上)	261,000	247,000
7	日野地区「再熱」活性化事業	日野地区活性化委員会	継続	2年目の事業。(ただし2年間申請なし。)[「晋平の里まつり」での主要イベントである、地区対抗グランドカーリング(地上でやるカーリングのような競技で、マレットゴルフのようなスティックで玉を得点圏内へ打ち、獲得した得点を競う。)で使用する備品の購入。簡単に楽しくプレイできるゲームを通して、子供たちを中心に老若男女問わず交流をはかり、地域の活性化を図る。 【H28支援額：8万4千円】	3/4	78,000	51,000
8	信州中野商工会議所青年部with中野西校	信州中野商工会議所青年部	継続	2年目の事業。中野市の若者(中野西校生)の力を集約して、次世代につながる取り組みを行い、新しい「中野」を発見する力、地域の魅力を外部にアピールする力にするため、高校生が開発したコーヒータンブナーを販売する。今年度は、市内企業へ就職や起業を希望する人を増やすため、新たに高校生の職場体験の斡旋を行いたい。 【H30支援額：16万1千円】	3/4	256,000	82,000